

○ 国語科の内容と構成はどのように改訂されたか。

国語科の内容については、これまでの「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」という3領域構成を維持するとともに、伝統的な言語文化に親しむ態度を育てたり、国語の特質についての理解を深めたり、豊かな言語感覚を養ったりすることなどを重視して、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を新設している。

3領域の目標構成も下表のとおり改訂された。

現行学習指導要領		新学習指導要領	
話すこと 聞くこと	話すことの指導目標	話すこと 聞くこと	話す能力に関する目標
	聞くことの指導目標		聞く能力に関する目標
	話合いの態度に関する指導目標		話し合う能力に関する目標
書くこと	書くことの指導目標		話すこと・聞くこと全体にわたる態度
	態度に関する指導目標	書くこと	書く能力に関する目標
読むこと	読むことの指導目標		書く態度に関する目標
	態度に関する指導目標	読むこと	読む能力に関する目標
			読書態度に関する目標

〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕については、下表のように構成されている。

言語事項	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
発音・発声に関する事項	伝統的な言語文化に関する事項
文字に関する事項	言葉の特徴やきまりに関する事項
表記に関する事項	文字に関する事項
文及び文章の構成に関する事項	書写に関する事項
言葉遣いに関する事項	
書写に関する事項	

「話すこと・聞くこと」に移行

＜ポイント＞ 言葉の特徴やきまりに関する指導事項は、以下の内容で構成されている。

- 言葉の働きや特徴に関する事項
- 表記に関する事項
- 語句に関する事項
- 文及び文章の構成に関する事項
- 言葉遣いに関する事項
- 表現の工夫に関する事項